

白門経友会

キャンパスの桜が
咲き乱れる季節となりました



卒業式、入学式のシーズンとなりました。今年の三月は寒暖の差の激しい日が続き、多摩キャンパスの桜は昨年よりは開花が遅れているので、入学式の頃に満開となって新入生を迎えてくれそうです。

卒業を迎える皆さんに、心よりお祝いの言葉を申し上げます。トランプ2・0が始まり、いよいよ先が見通せない時代となってきましたが、中央大学経済学部で身につけた「本物」の力を存分に発揮し、時代の波を乗り越えて活躍されることを祈念しております。そして、時には中央大学のことを思い出して、何かのことに顔を出してください。

そして、卒業で多くの学生たちが巣立ち、そして長年経済学部を支えてくださった先生方が退職されますが、彼ら・彼女らと入れ替えに、新入生が入学、新任教員が就任されるのか、毎年楽しみです。

彼ら・彼女らの活躍を経友会としても後押ししていきたいと考えております。

二〇二四年度末に 退職される先生方

今年、中央大学経済学部運営にあたって多大な貢献のあった先生方が定年退職されます。長年本学へのご尽力に感謝し、ここで紹介させていただきます。

※あいうえお順。凡例…①研究分野 ②中央大学での経歴 ③中央大学での役職

浅田統一郎 教授

①理論経済学 ②一九九三年 助教
③経済学部
④一九九四年 教授
⑤経済学部
長補佐、入試管理委員会委員長、経済研究所長、学長補佐、評議員、教員組合書記長

新井洋一 教授

①コーパス言語学、英語学 ②一九九四年 助教授、二〇〇〇年 教授
③視聴覚教室運営委員会委員長、教員組合委員長

坂田幸繁 教授

①統計科学、地域研究、経済統計
②一九八二年 助手、一九八五年 専任講師、一九九〇年 助教授、一九九七年 教授
③学生部長代行、入試管理委員会委員長代行・補

佐、情報整備センター所長

関野満夫 教授

①財政・公共経済 ②一九八七年 助手、一九九〇年 助教授、一九九六年 教授
③学部長、図書館長、評議員、学術講演運営委員会委員長、教員組合書記長

松丸和夫 教授

①社会政策 ②一九八一年 助手、一九八四年 専任講師、一九九〇年 助教授、一九九七年 教授
③学部長、常任理事、評議員、ダイバーシティセンター所長、学員会副会長、白門経友会会長

仲地二葉(任期制) 助教

①社会政策、人事労務管理、労働社会学 ②二〇二四年 助教



三月六日の送別会にて 左から、仲地先生、松丸先生、関野先生、坂田先生、新井先生、浅田先生

学生たちの主な活躍

二四年度に学生たちが行った活躍の中で特に顕著なものを紹介いたします。詳しくは経済学部ホームページのニュースをご覧ください。

経済学部 伊藤篤ゼミの二年生が量子アニーリングアイデアソンで入賞
二〇二四年五月二五日に開催された、「量子アニーリングアイデアソン」において、伊藤篤ゼミ二年の黒沢勇人さんのアイデアが「革新的アイデア賞」に選ばれました。「量子アニーリング」とは、量子コンピュータの実現方式の一種であり、組み合わせ問題に特化した技術のことです。

学術連盟経済学会委員長の経済学部二年生が、税収弾性値予測コンテスト二〇二三で優秀賞を受賞

経済学部二年生の阿部凜花さんが、景気循環学会高圧経済研究部会の「税収弾性値予測コンテスト二〇二三」において、優秀賞を受賞しました。このコンテストは、「税収弾性値」、「税収」、「名目 GDP」、それぞれの予測値の精度を基準に賞が授与されるというもの

です。阿部さんは経済学部教授飯島大邦が会長を務める中央大学学術連盟経済学会の委員長で、飯島ゼミのゼミ生でもあります。今後の活躍が期待されます。

経済学科四年生の豊田さんが「第二一回 私の提言」学生特別賞受賞
九月二〇日(金)、「第二一回 私の提言(主催:公益社団法人教育文化協会)」の受賞者が発表され、経済学部経済学科四年生の豊田真由さんが学生特別賞を受賞しました。豊田さんは経済学部の科目「ヒューマンエコノミクス」で「特殊講義」を受講しており、担当教員の阿部先生が講義中に紹介した同賞に応募し、めでたく受賞に至りました。

経済学部 O G と教員による論文が国際会議 IEEE CogInfoCom 2024 に特別賞を受賞

二〇二四年九月一六〜一八日に中央大学多摩キャンパスで開催された国際会議 15th IEEE International Conference on Cognitive Infocommunications (IEEE CogInfoCom 2024)において、二〇二三年卒業の大塚あみさんが在学中に行った研究をもとにした

論文が、特別賞 (SPECIAL AWARD FOR AI SUPPORTED EDUCATION) を受賞しました。論文執筆者は大塚あみ、経済学部教授 伊藤篤、(株) GMe 佐々木陽 (経済学部非常勤講師) です。

経済学部教授佐々木創ゼミの学生が、環境経済・政策インターゼミナール大会で最優秀賞を二年連続で受賞
毎年、環境経済学を専門とするゼミが一堂に会して、ゼミ論文の報告会を開催しています。第二一回大会となる今年は、二〇二四年二月二一日(土)に中央大学で開催されました。今年の参加校は、成蹊大学、立教大学、大阪経済大学、中央大学から合計一〇チームの研究発表がありました。一〇チームと指導教員の投票により、中央大学第二班「フィリピンにおける食品ロスの削減について」が最優秀賞を受賞しました。中央大学の最優秀賞の受賞は二年連続となります。

経済学部 小尾ゼミの研究が毎日新聞 神奈川県版に取り上げられました

経済学部の小尾ゼミは社会政策・労働問題を専門とするゼミで、今年度のゼミ内のチームでは保育士の労働

問題について研究しています。このほど、民間団体と協働で行った実態調査を踏まえて川崎市長に保育士の処遇改善の要請書を提出し、そうした活動が毎日新聞の神奈川県版に取り上げられました。

経済学部 小尾ゼミの育児負担・保育士の処遇に関する研究活動が東京新聞にも取り上げられました
経済学部の小尾ゼミの研究活動が二〇二五年一月一七日の東京新聞の紙面・WEB版に掲載されました。

経済学部の和田ゼミの学生が、オージス総研主催の OGIS-RI Software Challenge Award に入賞

オージス総研が主催する学生を対象としたソフトウェアコンテストの第一五回 OGIS-RI Software Challenge Award に、経済学部の和田ゼミの学生チームが参加。一三〇チームほどの中から決勝進出の五チームに選ばれ、特別賞を受賞しました(一月二二日)。

経済学部 宮本ゼミが「審査委員長賞」と「審査員特別賞」を受賞。第六回立川プレゼンプロジェクト

立川商工会議所環境コミュニ

テイ特別委員会主催の第六回立川プロジェクトでは、「SDGs 目標11」達成に関するアイデアをテーマに二〇二四年七月一日〜九月一六日で募集があり、二〇二五年二月六日に表彰式が行われました。プロジェクトに参加した経済学部の高本ゼミは、高齢者福祉の視点から詐欺被害防止策を提言したチーム《スパナボ》が審査委員長賞に、児童福祉の視点から子どもの体験格差是正を訴えたチーム《緑茶》が「審査員特別賞」にそれぞれ選ばれ、ダブル受賞となりました。



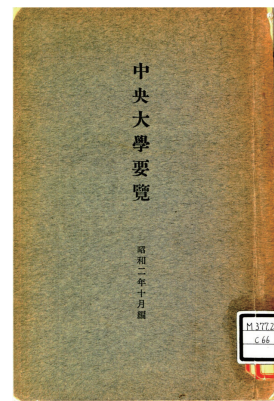
履修要項から

中大の歴史を紐解く(一)

前号の高梨さんの記事の中で、昭和四年度の法学部履修要項の作成が出てきました。また、新しく開設された大学史資料館で、開館当初、過去の学部ごとの『履修要項』が展示されていました。こうしたことに触発され、過去の履修要項について、中央図書館の書庫に潜って調べてみました。

『中央大学要覽』(一九二七年)

書庫の当該の棚には、戦前のものとして『中央大學要覽』(昭和二年一〇月編)が配架されています。



これには、創設者や当時の校舎の写真に加えて、中央大学校歌が掲載されています。歴史的資料として、その戦前の中央大学校歌の一番を紹介しておきましょう。

「皇國の礎固めん爲と」

中央の名に集へる健兒

春秋かはらぬ芙蓉の雪は

遠く吾等の心を照らす」

本文では、中央大学の沿革をはじめとして、組織や役員及び教員、規程や学則、参考法令が挙げられています。本文の最初に「吾校風」とあるものを紹介しておきます。旧字体でできるかぎり新字体に直し、適宜フリガナをふっておきます。

「吾校風」

中央大学八明治一八年英吉利法律学

校ノ名ノ下ニ創立セラレ爾來歳ヲ閱ミスルコト四十年間幾多ノ変移推移ヲ重ネ茲ニ吾校風ヲ馴致セリ惟フニ本学ハ創立以來歴代ノ当局者茲ニ教職員常ニ浮華放縱ヲ戒メ輕佻詭激ヲ斥ケ我國固有ノ精華ニ則ルト共ニ当初法律制度ノ完備セサリシカ為メ主トシテ英法ヲ教授シ自ラ英國ノ著實剛健ナル長所ヲ伝ヘタリ故ヲ以テ質実剛健ノ氣学園ニ横溢ス其経営ノ方針其教育ノ主義一トシテ此精神ニ出テサルナシ之ヲ校風ト為ス」

最近あまり聞かなくなりましたが、以前には中央大学のモットーあるいは建学の精神として持ち出された「質実剛健」が、ここでは「校風」として説明されます。なお、「浮華放縱ヲ戒メ輕佻詭激ヲ斥ケ」、「質実剛健ノ氣学園ニ横溢ス」という部分は、大正十二(一九二三)年に昭和天皇(当時は摂政)が発した「国民精神作興ニ關スル詔書」を思い起こさせます。

『学園生活』(一九五九年)

中央大学のホームページの年表データベースをチェックしますと、昭和三三年度に「本年度から新人生にハンドブック『学園生活』配布」とあります。図書館には昭和三四年

度のものが収められています。これは、主に学生部に関連したもので、学生生活を送る上で必要となる大学の施設や組織の利用方法を記した七〇ページほどの冊子(横書き)です。履修に係わることは書かれていませんので、履修要項とは別のものと見るべきでしょう。



なお、最初に掲載されている、柴田甲四郎総長の「建学の精神」では、「私どもの先輩が、創立当初より高く掲げて、本学独自の学風と伝統とを確立した『質実剛健』の標語と並ぶ『家族的情味』とは、〜」という説明がなされています。今となっては懐かしい響きの言葉となりました。

本学の建学の精神は、近年では設置申請の際に設置目的として申請された「實地應用ノ素ヲ養フ」という言葉が挙げられるようになってきているのは、皆様ご存じのとおりです。

担当授業、ふり返ってみれば

経済学部教授 坂田幸繁



一九八一年夏だったか、中央大
学経済学部で統計学の助手採用試
験が公募形式で実施されるという。
きつとだめだろうけど、と前置き
されて、九州大学統計学研究室(経
済学部)の恩師から応募を勧めら
れた。それがきっかけである。今
日の定年退職まで四十年余り中大
にお世話になってしまった。実力
以上の運のおかげで中大に縁がつ
き、入職後も紆余曲折はあったも
のの教授会の同僚や先輩諸氏のお
かげで今日を迎えている。ひとに
も恵まれた。感謝である。

助手から専任講師に昇格し、はじ
めて授業をもつことになるが、最初
の数年、出来は散々であった。そも
そも大学での授業経験は自分が母校
で受けた授業くらいしか想定できな

い。といって自分が学生だった時空
間には、わかりやすい授業という観
念はなく、俺の授業が学生諸君にわ
かるわけがないよと豪語する先生方
もいるような超ローカルな時代雰
気(逆に、やさしすぎると盾突く学
生もいた)である。その真意はい
えば、むしろ研究に裏打ちされた教
育と理解しがたい空白、行間は学生
が自分で埋めていく、それが大学で
の勉強だという暗黙の了解事項で
あった。そのうえで言葉である。
とはいえ、そういう古い頭でっかち
の若造が授業を組み立て教壇に臨ん
でいくのだから、受講者にはいい迷
惑である。

特殊講義で数理統計を内容とした
授業を実施した。思い返すも恥ずか
しく赤面してしまう授業である。黒
板に向かつてぶつぶつぶやきなが
らも、本人は悦に入っている、よく
だめ教員と揶揄される板書イメージ
である。若いころであり、自意識
も自尊心も過剰であるから始末が悪
い。腐っているとときにつきあつてく
れたのが当時の昼・夜間部のゼミ生
である。ゼミあるごとに学生と飲ん
でいたようなありさまだったが、と
くに夜間部ゼミ生には同年代の公務
員職の履修者もあり、そのうちわた

しの授業批評をやりわりと論すよう
に展開してくれた。

本人、表向き非を認めることはな
いが、胸の奥にはやりわりとしみ込
んでおり、ひそかに教授法含め改善
を試みたものである。いまはといえ
ば、結局、誤魔化しがうまくなった
だけで内実はさほど変わらない。何
より、紙と黒板に代わりPCとプ
ロジェクターとインターネットが登
場し、本来の授業法をものにならない
ままテクノロジーに逃げを決め込ん
だ形になってしまった。その反省も
あり最近では、コロナ禍で作成した
電子教科書と電子資料を黒板代わり
に、手書き入力で電子板書する方式
に落ち着いた。しかし考えてみれば、
元に戻っただけのような気がする。
Eを不合格とするなら、何とかD
評価をいただけるならありがたい。
本人としてはこれでもかなり改善さ
れた気になっている。

こういう教員の統計学を受講され
た在学生、卒業生、経友会の方々も
いらつしやることと思う。みなさん、
教員の足らざるところはきつと自ら
補つて余力ある力をお持ちと信じて
いる。担当授業を反芻しつつふり
返つてみて、退職の挨拶とさせてい
ただきたい。

最後になりましたが、経友会の皆
様にはますますのご発展を祈念しつ
つ、後に続く学生への変わらぬ応援
をお願いしたいと思います。長い間、
お世話になりました。

総会案内

日時 六月一四日(土)
場所 中央大学多摩キャンパス
七号館(経済学部棟)
七一〇四教室

記念公開講演講師：鳥居伸好教授

引き続き、「経済学部創立百周年記念奨学金」へのご寄付を募っています

詳細は中大WEBサイトにて。経済学
部トップから赤色のバナーをクリック。
スマホはQRコードから。



2025年3月31日 第89号
発行 白門経友会常任幹事会
編集 白門経友会編集委員会
〒192-0393
東京都八王子市東中野742-1
中央大学経済学部内
URL : www.wg-keiyukai.com
Fax : 042-673-3425